

＜先週の説教から＞

『クリスマス礼拝—命の光を持つ者に』

箴言 4:18~19 ヨハネ福音書 8:12

武田真治牧師

“クリスマス、おめでとうございます！” 本年は私にとって、年頭から毎日通院するガンの放射線治療が始まり、鬱々とした思いで過ごしました。それが、こうして一緒にクリスマスをお迎えできる幸いを深く感謝します。その感謝の思いを込めて、ヨハネによる福音書8章12節のイエス様の約束の言葉と一緒に思いを馳せたいと願いました。それが『わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。』です。まさに、イエス様がこの“世の光”としてこの世界に来てくださった、それが《クリスマスの福音》です。今日、改めてイエス様の御降誕をお祝いするのは、今もイエス様は“世の光”として天から私たちを照らし、導いてくださることを覚えること、その祝福に満ちた光の中を歩いていることでもはや『暗闇の中を歩かず』に生きていけることを、感謝をもって受け留め直すためなのです。

今日はもう一つ、旧約聖書の箴言4章18と19節を読みました。まず18節には「神に従う人の道は輝き出る光、進むほどに光は増し、真昼の光となる」とあります。この言葉は私たちキリスト者にとっては、なんと励ましになる言葉ではないかと思えます。人生のという“道”をイエス様の光に照らされて歩む時、歳を経るに従って“光は増す”と（消えて行かないのです！）。そして最後には“真昼の光=天のみ国で光に包まれる”という約束の言葉であるからです。そのように導かれたいと願います。そして次の19節は「神に逆らう者の道は闇に閉ざされ、何につまずいても、知ることはない」とあります。ここに“闇の道”を歩くことの怖ろしさが記されています。暗闇だと、転んだ時に「何につまずいたか分からない」と。故に、また同じつまずき=失敗や挫折を繰り返します。するともう先に進むこと自体がいやになり、無駄に感じ諦めてしまいます。

聖書が“罪”という点を重視するのはここに理由があると言いますね。自分の問題に気が付いてこそだからです。

そして、今日のイエス様の言葉には“もう一つの光”があると言われています。それが「命の光を持つ」です。これは私たちひとり一人が“持つ”ことの出来る光なのだ。ちょうど、イエス様という「世の光」に照らされて、地上の歩みを進めて行くうちに、私たちにも「命の光」が与えられる、与えてあげようと約束して下さっている言葉なのです。これは言い換えれば「内なる光」とも言い得るものです。故に、「命の光」と言われているのでしょうか。私たちの内側を“照らし”、私たちの中で“輝き”、周りの状況や周囲の人たちを少しでも“明るく”する光です。与えられている“命”を燃やせる力と使命を与えられることだと言います！

【今週の集会】

- *聖書研究・祈祷会 I. 1月1日(水)
- II. 1月2日(木)
- 両日共に休会

- *元日礼拝 11:00~
- 司式:武田真治牧師 奏楽:村上
- 献金:矢崎 山田
- 受付:茂木 武田

【教勢報告】

- 主日礼拝 男26 女62 計88
- 祈祷会 I. 男4 女1 計5 II. 男2 女9 計11
- 日曜学校 幼稚科18 小中科21 計39
- イブ礼拝 男36 女55 計91

【次週礼拝】

- 1月5日(日) *新年礼拝
- 聖書: 創世記 48:12~16
- ルカによる福音書 4:38~41
- 説教:「ルカ[㊟]—その一人一人に手を置いて」
- 武田真治牧師

- 讃美歌: 271(1)、32、278、409、432、
- 75(1と2)、27(1)

【次週当番表】

- 司式:金刺長老 奏楽:勝村 礼拝:保坂長老
- 配餐:岩佐 金刺 齋藤 坂田 各長老
- 献金:吉岡 吉川 受付:西尾 森本
- 会堂準備:浅井 阿部 齋藤 山田
- 看板:保坂 週報:岩佐 お花:森本

【次週集会予定】

- 礼拝前:・聖書輪読会 ・求道者会
- 礼拝後:・牧師と語る会 ・お茶の会
- ・会堂管理委員会 ・長老会

週報

2024年度 教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

2024年 12月 29日

日本キリスト教団 上尾合同教会
 牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33
 TEL&FAX 048-771-6549
<http://www.ageo-church.org/>